

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

正指揮者・下野竜也“卒業”公演

《有終のブルックナー》 ～万感の想いを胸に～

ブルックナー：交響曲 第5番 変ロ長調 WAB.105 (原典版)

Bruckner/ Symphony No.5 in B flat major, WAB.105

雄大なフォルティッシモで終結。
人間と自然への愛を高らかに謳う！

指揮=下野竜也 (読響・正指揮者)

Conductor: Tatsuya Shimono

コンサートマスター：小森谷巧

Concertmaster: Takumi Komoriya

読売日本交響楽団 第523回定期演奏会

The 523rd Subscription Concert

2013年2月18日(月) 19時 サントリーホール

Monday, 18th February 7:00 p.m. / Suntory Hall

S席¥7,000 A席¥6,000 B席¥5,000 C席¥3,000

読売日本交響楽団 第202回東京芸術劇場名曲シリーズ

The 202nd Tokyo Metropolitan Theatre Popular Series

2013年2月20日(水) 19時 東京芸術劇場コンサートホール

Wednesday, 20th February 7:00 p.m. / Tokyo Metropolitan Theatre

S席¥7,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000

50周年



響け、この想いを。

私たちは、東日本大震災・被災地の
一日も早い復興を心から祈っております。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

協力：アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 衣装協力：NIPPON TV 事業提携：東京芸術劇場 [2/20]

助成：文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 03-3562-1550 (平日 10時～18時) <http://yomikyoo.or.jp/>

下野竜也、6年間の集大成として ブルックナーを振る

吉村 溪 (音楽評論家)

いまや名実ともに日本を代表するマエストロとして押しも押されぬ存在となった下野竜也。深いところまで読みこんだスコアを的確な指揮で具現化する手腕には国内外から称賛の聲が後を絶たない。そんな彼が、2006年秋から務めてきた読売日本交響楽団正指揮者(4月以降は首席客演指揮者という肩書になる)としての最終公演の曲目に選んだのは、ブルックナーの交響曲第5番変ロ長調である。日本におけるブルックナー指揮者の草分け的存在である故・朝比奈隆のもと、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮研究員時代にその音楽づくりの現場をつぶさに観察してきた下野は「音楽の好みでブルックナー派とマーラー派に分かれるなんて言いますが、僕はブルックナー派かな」と日頃からこの作曲家への共感を表明し、これまでも交響曲第0番や第1番、第4番、第5番、第7番、第8番、第9番などを取り上げてきた。このうち第5番に関しては、2006年に名古屋フィルハーモニー交響楽団の指揮台に登場した際の名演が現在でも語り種になっている。

1875年から78年にかけて作曲されたブルックナーの交響曲第5番は、作曲者自身が語ったように幻想的、もしくは対位法的な要素の濃い交響曲。両端楽章、つまり第1楽章とフィナーレの第4楽章をシメトリカル(対称をなす形)に配し、各主題を循環的に用いた緊密な構成をもつこの作品は、彼のシンフォニーの中でもひととき構築的なフォルムを持つ大作として知られる。のちに生み出される、壮大なスケールを伴った後期交響曲(第7番～第9番)につながる萌芽を秘めているとも考えられ、重要な役割を担う金管楽器群を中心に指揮者の手綱さばきがシビアに問われよう。その点、弦楽器はもちろん管楽器が醸し出すハーモニーの扱いにも精通した下野なら、きっと聴衆の期待を遥かに上回る名演を実現させてくれるに違いない。加えて前常任指揮者スタニスラフ・スコロヴァチェフスキの薫陶を受けた読響には、ブルックナー作品に対する経験値が豊富に蓄積されている。この両者がお互いの信頼関係を土台にしてがっぶり四つに組む今回の大一番、熱い注目を集めることは必至だ。

下野 竜也 (指揮者) Tatsuya Shimono (Conductor)

2006年、読響・初代正指揮者に就任し、以後意欲的な活動で高い評価を得ている。2011年10月に行われたジョン・アダムスと團伊玖磨の作品を扱った読響との演奏会は、雑誌や新聞で取り上げられ話題となり、音楽評論家などが選出する「第24回ミュージック・ベンクラブ音楽賞」を受賞した。1969年鹿児島生まれ。97年から99年まで、大阪フィルの初代指揮研究員として朝比奈隆らの下で研鑽を積む。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、01年プザンソン国際コンクール優勝。国内の主要オーケストラに招かれる一方、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブール・フィルなどと共演。10年12月、サイトウ・キネン・オーケストラを指揮して、ニューヨーク・カーネギーホールに登場。11年4月、南ドイツ・フィルにデビュー。07年から上野学園大学音楽学部教授。11年1月、広島ウインドオーケストラ音楽監督に就任。

©読売日本交響楽団

「下野シート」に
無料ご招待!

作曲や指揮、オーケストラを学んでいる大学・大学院生をはじめ、これから音楽家を目指そうと考えている高校生などを下野氏が本公演にご招待します。本番に先立つ会場練習を見学したあと、下野氏との質疑応答の時間を設ける予定です。詳しくは<http://yomikyo.or.jp/>まで。

2013
2月18日(月) 19時開演
サントリーホール


料金 S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥~~4,000~~
東京都港区赤坂1-13-1 Tel.03-3505-1001(オフィス)
東京メトロ南北線 六本木一丁目駅(3番出口) 徒歩約5分

2013
2月20日(水) 19時開演
東京芸術劇場コンサートホール


料金 S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000
東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111
池袋駅西口 徒歩2分 ※一時託児施設あり

読響チケットセンター

▶お電話で  03-3562-1550 (平日 10:00-18:00)

▶パソコンで  <http://yomikyo.or.jp/>

※送料および手数料は必要ありません(一部公演を除く)。
※一部公演によっては、座席指定で購入できないものもあります
ので、ご了承ください。

▶携帯電話から  <http://yomikyo.or.jp/m/>
※携帯電話からは座席指定ができません。



前売所

イープラス <http://eplus.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (2月18日(月)公演分) 他

学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥1,500で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

団体割引：読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未成年児のご入場は、固くお断りいたします。